

サステナビリティの学びと実践 荘銀かねやま絆の森

2010年から、山形県・金山町・地元林業者の三英クラフトと連携し、「莊銀かねやま絆の森」を拠点に森づくり活動を行っています。

植樹や育林作業を通じて森林保全への理解を深めるとともに、再生可能エネルギーに係る勉強会やSDGsワークショップ、まちづくりをテーマにしたフィールドワークなどを実施。森づくりを起点に、持続可能な地域社会の実現に向けて学びと実践の場としてさまざまな企画を展開しています。



豊かで潤いのある地域社会を目指して 公益信託莊内銀行ふるさと創造基金

山形県内の学校教育・社会教育・文化的活動に取り組む団体に対し助成金を贈呈しています。子どもの健全育成や自然環境の保全、伝統文化の継承など、幅広い分野の活動をサポートし、地域の課題解決に寄与。また、交流や情報交換の機会を設けるなど、助成団体のさらなるネットワーク拡大にも貢献しています。

募集時期や申請方法など
 詳細は当基金ホームページをご確認ください。



庄内銀行ふるさと創造基金 地域貢献大賞

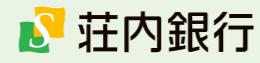
家庭教育応援・ボランティア活動団体 アベルんち

「つながり・出会い・発見」をキーワードに、人・家庭・地域が元気になる場をつくりたいと絵本を使った交流会から活動を開始。以降、取り組む課題の幅を広げ、現在は不登校や発達障がいなど生きづらさを感じている子どもや若者、その家族が交流できる場を提供し、楽しみながら社会とのつながりを築き、社会参加を後押しする活動へと発展しています。



一般社団法人 やまがた福わたし

家庭や企業で不要になった食品を、食の支援が必要な方に「おすそわけ」するフードバンク活動を実施。各地域の自立支援窓口などと連携し、自立のための食料支援やフードバンチャー(対面での食品配布会)を行いながら、支援制度などの情報提供や行政への橋渡しなど、困窮世帯の孤立を防ぎ、自立に向けた長期的な目標での支援にも注力しています。



A MEMBER of IDEA GROUP



私たちが持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

発行／庄内銀行 広報CSR室 (2023年発行)

莊銀

SDGs レポート

庄内銀行は「サステナビリティ方針」および「SDGs宣言」のもと、お客さまの成長支援や夢の実現、地域の産業振興や賑わい創出に力を注ぎ、地域社会・経済の持続的な発展の一助となることを目指しています。5年後、10年後、さらにその先のふるさとの未来が幸せと希望に満ちたものであり続けるよう、「地域の発展と共にある銀行」として金融の分野から地域に貢献していきます。



フィデアホールディングスホームページに、各マテリアリティの具体的な内容やサステナビリティ方針に基づく各種方針を掲載しています。

フィデアグループサステナビリティ方針

5つのマテリアリティ(重要課題)への取り組みを通じて、地域社会・経済の持続的な発展に貢献するとともに、当グループの企業価値向上を目指します。

5つのマテリアリティ(重要課題)



フィデアグループSDGs宣言

- フィデアグループは国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨に賛同し、地域課題の解決に向けた取り組みを通じて、地域社会の持続的な発展を目指します。
- フィデアグループの役職員全員が、情熱と知恵と挑戦で、「東北を幸せと希望の産地にする」という経営理念を主体的に実践し、SDGsの達成に取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



莊銀 SDGs

ふるさとの未来のために

DX・GXを起点とした 地域産業活性化

多角的で質の高い提案を行うためDX室、GX室を新設したほか、SDGsおよびDXの推進による地域産業活性化を目的に、リコージャパン株式会社山形支社と連携協定を締結。営業店と本部専門部署や外部専門機関が連携してソリューション提案を行っています。企業の経営支援を通じて、地域のSDGs、DX・GXの推進に貢献しています。

タイとの経済・ 交流活性化を支援

当行が事務局を務める「山形県タイ友好協会」は、タイとの経済・文化・スポーツ交流活性化のため、ミッション団派遣やインバウンドセミナーなどを展開しています。2022年度はタイ人インフルエンサーによる情報発信を実施。山形の魅力をSNSで広く発信することで、タイにおける認知度向上を図っています。

人権の尊重

フィデアグループは、あらゆる人権侵害行為の根絶を目指す「人権方針」を策定。従業員一人ひとりが人権問題に関する正しい認識と理解を深めるため、人権啓発研修などを実施しています。

「人財」重視の組織づくり

企業内保育施設の設置など仕事と育児を両立できる環境を整備し、育児休業取得率は男女ともに100%※。服装自由化、副業・兼業制度を導入しているほか、行内外での研修やOJTの拡充などにより、従業員の成長を後押しする風土の醸成を図っています。働きがい、働きやすさの向上に取り組み、多様な人材が活躍できる職場環境づくりを追求しています。

※2023年3月末時点

莊銀SDGs私募債

地域におけるSDGsの取組促進を目的とした寄付型私募債「莊銀SDGs私募債」を取り扱っています。発行する企業から当行が受け取る手数料の一部を、SDGsの達成に資する活動に取り組む教育機関や地方公共団体、NPOなどに寄付・寄贈を行います。

金融経済教育の実施

金融に関する正しい知識や判断力の向上のため、出張講座やセミナーなどを実施しているほか、子どもたちに働くことの意義や地域社会での金融機関の役割について理解を深めてもらうことを目的に職場体験・見学の受け入れを行っています。



次世代経営人材の 育成支援

2018年からお取引先企業の後継者や若手経営者などを対象に、事業戦略や人材育成など経営に必要な知識・ノウハウの習得や人的ネットワーク構築を目的とした「次世代経営塾」を開講。実習やディスカッション、アクションプラン(経営計画)の策定など実践的な内容で、経営感覚の向上をサポートしています。



気候変動への対応

再生可能エネルギー事業の支援や自治体等と協働しての脱炭素化の支援など、地球温暖化や気候変動への対応を積極的に進め、持続可能な地域社会の実現に主体的に貢献してまいります。

グループの目標と指標

(1) サステナブルファイナンス 実行目標

2021年から2030年まで
10年間の累計実行額目標
4,000億円
(うち、環境分野2,000億円)

(2) CO₂排出量削減目標

2030年度までに
2013年度比△55%



ファイナンスを通じた サステナビリティの推進

「莊銀グリーンローン」、「莊銀サステナビリティ・リンク・ローン」の取り扱いを開始。グリーンプロジェクトやESG、SDGsに関する設備資金、運転資金を対象とするローンで、ファイナンス期間におけるお客さまとの対話やモニタリングを通して、サステナビリティ経営の実現を金融面から支援してまいります。

カーボンニュートラルの 実現に向けて

企業のCO₂排出量削減に資する取り組みをカーボンクレジットとして創出し、売買をサポートする株式会社バイオイル、CO₂排出量管理クラウドサービス「アスエネ」を提供するアスエネ株式会社などと提携し、お取引企業の脱炭素経営を後押ししています。

交通安全横断旗の寄贈

交通事故のない安心・安全な地域社会の実現を願い、1968年から山形県交通安全協会に横断旗を寄贈しています。これまでに約57万本を贈り、児童や高齢者の交通事故防止に役立てられています。



地域の皆さまと共に

市街地や公園、海岸などの清掃、美化活動に積極的に参加しているほか、各地のまつりに踊り手やスタッフとして参加。地域の皆さまとのコミュニケーションを深めるとともに賑わい創出に寄与しています。



社会から信頼される ガバナンスの構築

フィデアホールディングスは、サステナビリティ経営の状況を評価・検証する「サステナビリティ委員会」、持続的な企業価値向上に向けた「経営戦略委員会」を設置。社会から信頼されるグループのガバナンスの構築に努めています。